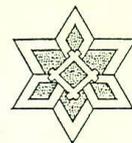


ふくい

舞鶴市立福井小学校
令和5年12月22日発行
(本年度10号)



2024年
辰(甲辰:きのえたつ)の年

2学期終業式

2学期終業式を迎えました。行事や学習が目白押しの2学期でしたが、子ども達は元気いっぱいでした。運動会では各学年で練習してきた成果を発揮し見応えのある競技・演技でした。150周年記念式典では全校合唱「ふるさと」を披露しました。また、田中彩子さんの美しい歌声を聞き、記念モニュメントも完成しました。完走目指して力走したマラソン大会や、各学年の良さを生かし素敵な発表をした音楽集会。「ふふふフェスタ」では、6年生リーダーを中心にアイデアいっぱいのお店を開き、みんなで役割分担をして楽しみました。PTA本部役員の皆様には子育て支援協議会や福井文化協会の方々と一緒に「パラバルーン」のコーナーをお世話になりました。人権旬間では「いいところの輪を広げよう」を目あてに、自分や友達の事を見つめ直し、皆が尊重される友達関係を目指して、しっかり考えることができました。



明日から子ども達が楽しみにしている冬休みです。新型コロナウイルス感染症に関する報道は激減していますが、安心は出来ません。インフルエンザ等の流行も心配され、引き続き一人一人の主体的な感染防止対策が必要です。また、冬休みは生活習慣の乱れや金銭トラブル等も発生しやすい時季です。子ども一人一人がしっかりと自律した冬休みの生活を送ることができるよう、ご家庭でも声掛けをお願いいたします。

来る2024年は辰年。今年の6年生は辰年(辰・巳)生まれです。辰年生まれは全国に約1016万人おり人口の約8.1%(2023.5現在)にあたるそうです。「十干十二支」では、辰年は5つ(甲辰・丙辰・戊辰・庚辰・壬辰)あり今年「甲辰(きのえたつ)」。甲は十干の1番目で命の始まりを表し、辰は草木の成長や活気などを表す事から、新しい事を始めると成功したり、今まで準備した事が形になったりする縁起のいい年とされています。中国で竜(龍)は麒麟・鳳凰・靈龜と並ぶ四霊獣の一つで、王の生まれ変わりとして実在すると思われており、干支の中では唯一架空の動物です。竜には9種の生き物の部位(竜に九似あり)があります。鱗(ウロコ)は鯉で81枚あると言われています。竜のあごの下には一枚だけ逆さに生えた「逆鱗(げきりん)」があり、これに触れると竜は激怒してしまいます。「逆鱗に触れる」という言葉がありますが、触れてはいけない事に触れてしまい相手が激しく怒る様は、まさしく竜が怒る姿でしょう。竜は中国だけでなく世界各地で強大な力の象徴、人間支配の及ばない存在として扱われる事が多いです。また「竜」が付く言葉も多く「登竜門(成長のために乗り越えるべき難関)」などはよく知られています。これは、中国の黄河上流に「竜門」という激流があり、ここを登り切った魚(鯉)には靈力が宿り「竜」になるという話がもとになっています。「鯉のぼり(端午の節句)」のルーツも竜門を登る鯉(六六変じて九九鱗となる)にあるそうで、ことわざの「鯉の滝登り」を願う親の気持ちが込められています。

さて辰年の2024年は、子ども達にとってどんな年になるのでしょうか。春にはそれぞれ進級し、6年生は中学校へ進学します。「甲辰」らしく、新しいことに挑戦しながら今まで積み上げてきた力をしっかりと発揮し「昇り竜」の如く大きく成長できる年であってほしいと思います。保護者・地域の皆様には、来年も変わらぬご理解・ご協力をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同